

株主のみなさまへ 中間期のご報告

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日



王子ホールディングス株式会社
代表取締役社長

磯野 裕之

中間期の連結業績ハイライト

売上高	8,375 億円	前年同期比 18.2%増	▲
営業利益	404 億円	前年同期比 36.6%減	▼
経常利益	602 億円	前年同期比 12.5%減	▼
親会社株主に帰属 する四半期純利益	379 億円	前年同期比 16.8%減	▼



決算短信をご覧ください。
<https://investor.ojiholdings.co.jp/ja/ir.html>

神奈川県三保山林から富士山を望む

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日、以下、「中間期」)の概要をご報告申し上げます。

当中間期の業績について

当中間期の売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大により停滞していた経済活動の再開による需要の回復やパルプ市況の上昇、また足元の原燃料価格高騰影響を受けた価格修正の実施により、前年同期を1,290億円(18.2%)上回る8,375億円となりました。なお、当社グループの海外売上高比率は前年同期を6.1ポイント上回る38.5%となりました。

営業利益は、上記の価格修正の取り組みに加え、販売量も増加しましたが、原燃料価格高騰影響が大きく、前年同期を233億円(△36.6%)下回る404億円となりました。経常利益は、外貨建債権債務の評価替えによる為替差益の発生がありましたが、前年同期を86億円(△12.5%)下回る602億円となりました。税金等調整前四半期純利益は、前年同期を103億円(△15.2%)下回る575億円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期を77億円(△16.8%)下回る379億円となりました。

中間配当について

当社は、各事業年度の業績の状況と今後の経営諸施策に備えるための内部留保を総合的に勘案しつつ、株主の皆様へ可能な限り安定配当を継続することを基本方針としています。当期の中間配当金につきましては、当期の業績の状況並びに今後の事業環境等を総合的に勘案し、前年同期と比べ1円増配の1株につき8円と決定させていただきました。

2022年11月

中間期のセグメント別の営業の状況

生活産業資材		段ボール原紙・加工、白板紙・紙器、包装用紙・製袋、家庭紙、紙おむつ			
売上高	3,898億円	前年同期比 13.8%増	構成比 (%)	39.2	
営業利益	11億円	前年同期比 94.1%減	構成比 (%)	2.6	



機能材		特殊紙・感熱紙・粘着・フィルム			
売上高	1,076億円	前年同期比 17.7%増	構成比 (%)	10.8	
営業利益	72億円	前年同期比 0.6%減	構成比 (%)	17.3	



資源環境ビジネス		パルプ、エネルギー、植林・木材加工			
売上高	2,040億円	前年同期比 41.4%増	構成比 (%)	20.5	
営業利益	293億円	前年同期比 24.1%増	構成比 (%)	70.3	



印刷情報メディア		新聞用紙、印刷・出版用紙、情報用紙			
売上高	1,342億円	前年同期比 14.1%増	構成比 (%)	13.5	
営業利益	△2億円	前年同期比 -	構成比 (%)	△0.5	



その他		不動産、エンジニアリング、商事、物流 他			
売上高	1,595億円	前年同期比 12.0%増	構成比 (%)	16.0	
営業利益	43億円	前年同期比 0.0%	構成比 (%)	10.3	

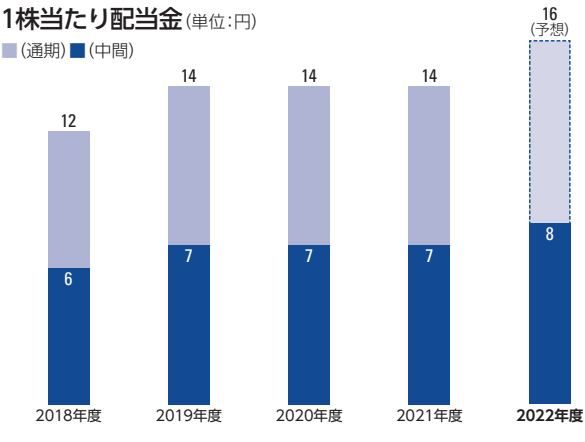
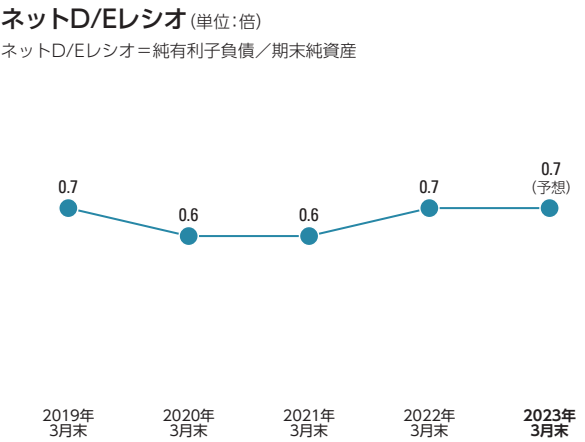
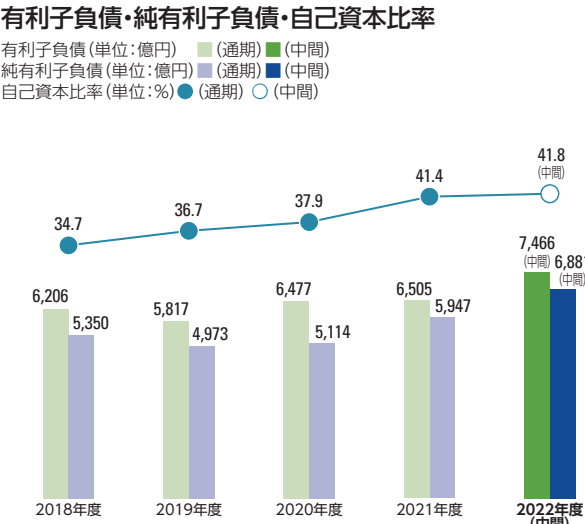
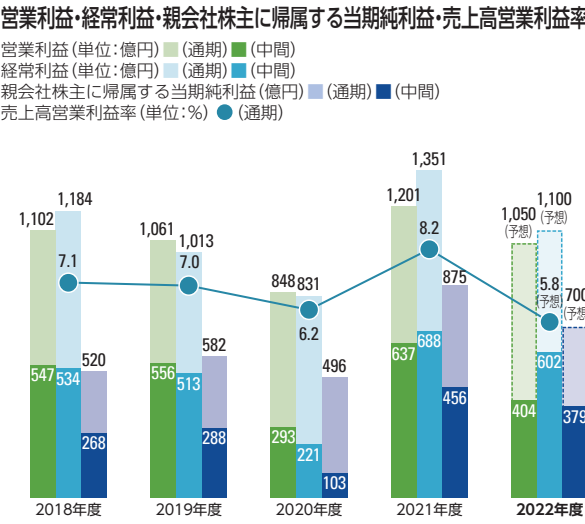
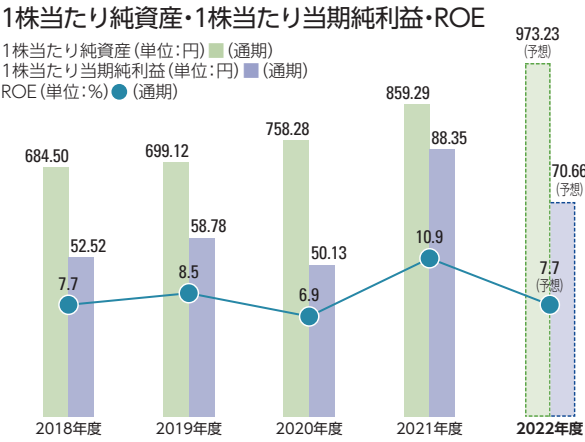
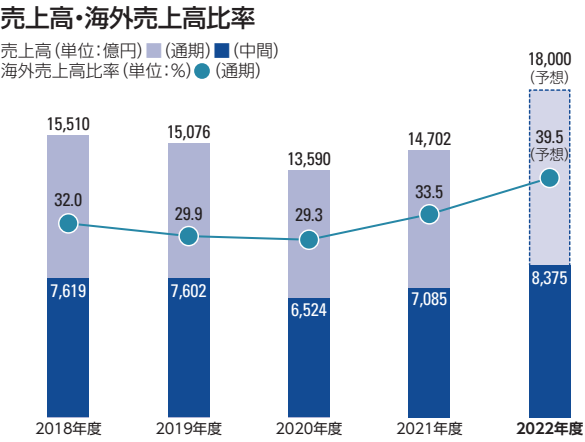
(注)セグメント別の売上高及び営業利益構成比(%)は、調整額(内部取引に関わる調整額等)を除いて計算しています。

財務データ概況

財産及び損益の状況の推移

区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(予想)
売上高	(百万円) 1,550,991	1,507,607	1,358,985	1,470,161	1,800,000
営業利益	(百万円) 110,212	106,125	84,793	120,119	105,000
経常利益	(百万円) 118,370	101,289	83,061	135,100	110,000
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円) 51,977	58,181	49,635	87,509	70,000
1株当たり当期純利益	(円) 52.52	58.78	50.13	88.35	70.66
1株当たり純資産	(円) 684.50	699.12	758.28	859.29	973.23

(注) 2022年度通期の予想は第2四半期決算短信発表(2022年11月8日)時点のものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



王子グループが目指す姿

長期ビジョン・中期経営計画（2022年5月発表）

王子グループは、変化を続ける社会の中で持続的に企業価値の増大を図り、目指すべき姿へ歩みを進めるため、

経営理念：「革新的価値の創造」、「未来と世界への貢献」、「環境・社会との共生」

存在意義：「森林を健全に育て、その森林資源を活かした製品を創造し、社会に届けることで、
希望あふれる地球の未来の実現に向け、時代を動かしていく」

を踏まえ、2030年度に向けた「長期ビジョン」と「2022-2024年度中期経営計画」を策定し、取り組んでいます。

長期ビジョン



2030年度に達成を目指す目標

環境行動目標2030の達成

「環境ビジョン2050」における2050年のネット・ゼロ・カーボン目標のマイルストーンとして、「環境行動目標2030」では、2030年度に温室効果ガス(GHG)の排出量を2018年度対比で70%以上削減する目標を掲げています。70%の内訳は、石炭使用量減、自家用太陽光発電パネル設置等の再生可能エネルギー利用率の向上による排出量の削減が20%、植林面積を拡大することによる森林によるCO₂純吸収量の拡大が残りの50%であり、2030年度までにそれぞれ1,000億円、計2,000億円を投じていく予定です。

カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みに限らず、「環境行動目標2030」に掲げる事業活動と不可分の多岐にわたる取り組みを着実に実行していきます。

環境行動目標2030

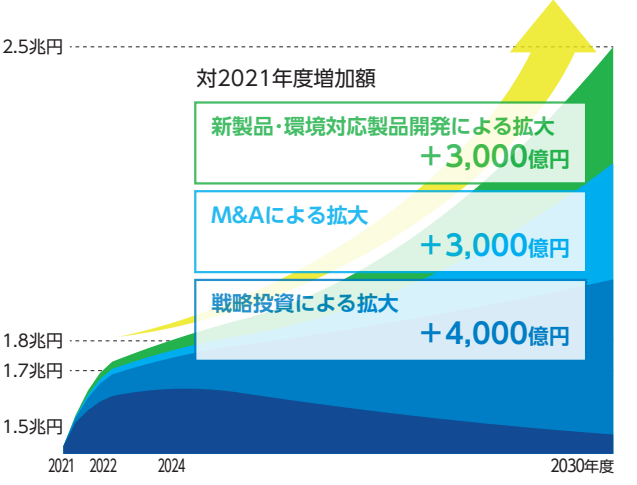
- 1 気候変動問題への対応**
 - 温室効果ガス(GHG)排出量 2018年度対比70%以上削減
- 2 豊かな森づくりと資源循環**
 - 持続可能な森林経営 (森のリサイクル)
 - 資源循環 (紙・水のリサイクル)
- 3 生態系への配慮**
 - 環境負荷ゼロへの挑戦
 - 生物多様性保全
- 4 ステークホルダーとの信頼関係の醸成**
 - 責任ある原材料の調達と製造
 - 脱炭素社会に貢献する製品の拡充
 - 環境事故ゼロ・製造物責任事故ゼロ

連結売上高2.5兆円以上

2030年度の連結売上高を、2021年度実績から1兆円以上増加させ、2.5兆円以上とすることを目指していきます。

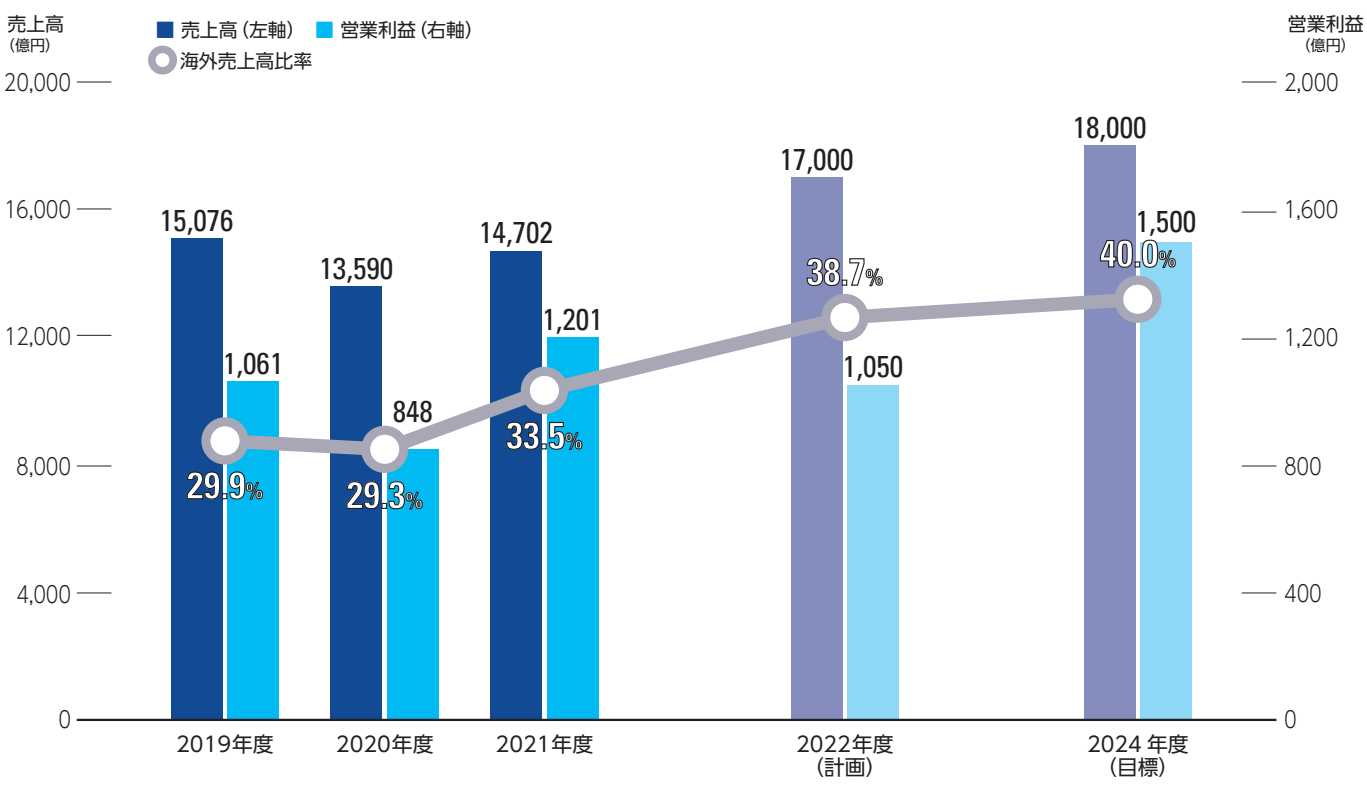
一部品種の需要縮小が見込まれる中、コスト削減や操業改善等により利益率を向上させていくことに留まらず、グループとしてのさらなる成長・進化を遂げるため、段ボール事業、家庭紙・紙おむつ事業、感熱事業、パルプ事業をはじめとした既存の有望事業を戦略投資やM&A等を通じて拡大させると同時に、高機能フィルム事業、再生可能エネルギー事業を含む新製品・環境対応製品の開発・事業化および拡販に注力していきます。そしてその過程を通じて、時代の要請に応じた適切なポートフォリオ転換を図っていきます。

連結売上高推移



中期経営計画

王子グループは、これまでの取り組みを踏まえ、2030年度に向けた「長期ビジョン」のマイルストーンとして、「2022-2024年度中期経営計画」を策定しました。



2019-2021年度			2022-2024年度		
経営数値目標	目標	実績	経営数値目標	目標	2022年度計画
連結営業利益	1,500億円以上	1,201億円	連結営業利益	1,500億円以上	1,050億円
海外売上高比率	40.0%	33.5%	海外売上高比率	40.0%	38.7%
ROE	10.0%	10.9%	連結純利益	1,000億円以上	700億円
ネットD/ELレシオ	0.7倍維持	0.7倍	ネットD/ELレシオ	0.7倍維持	0.7倍

基本方針

- 1 国内事業の収益力アップ
- 2 海外事業の拡充
- 3 イノベーションの推進
- ★ 持続可能な社会への貢献

振り返り

- 2021年度営業利益はコロナ禍による影響(設備投資の進捗・効果発現の遅延等)や原材料価格高騰の影響により目標は未達も過去最高益を更新。
- 国内の成長事業(段ボール事業・家庭紙事業・再生可能エネルギー事業)および海外事業を強化・拡大。
- イノベーションの各テーマ「環境配慮型素材・製品」「医療領域への進出」「トータルソリューション」の開発を積極推進。
- 「環境ビジョン2050」「環境行動目標2030」を策定。

基本方針(長期ビジョン・中期経営計画)

- 1 環境問題への取り組み -Sustainability-
- 2 収益向上への取り組み -Profitability-
- 3 製品開発への取り組み -Green Innovation-

重点取り組み項目

- 環境問題への対応の重要性の高まりに対し、「環境ビジョン2050」「環境行動目標2030」のアクションプランを実行。
- 保有設備を有効活用し、さらなる生産体制再構築を推進。
- さらなる国内有望事業および海外事業の拡充に向け、戦略投資やM&A等を実施。
- グリーンイノベーションの各テーマ「木質由来の新素材開発」「メディカル&ヘルスケア領域への挑戦」「環境配慮型紙素材の開発」について、素材・製品開発に留まらず、早期事業化への取り組みを加速。

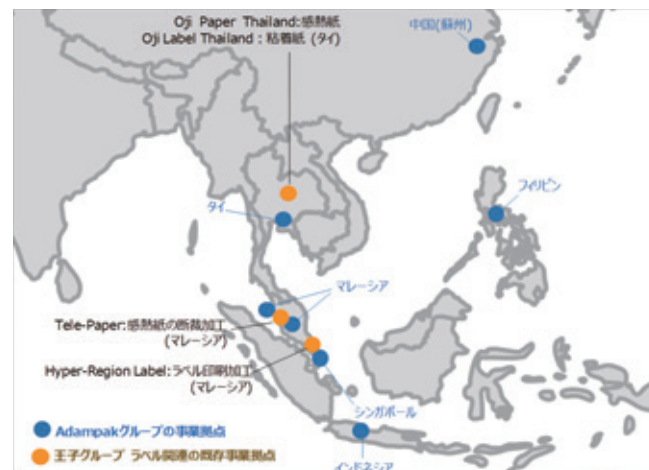
「王子グループ統合報告書 2022」発行のお知らせ

今年度は、2022年5月発表の「存在意義(パーパス)」、「長期ビジョン」及び「中期経営計画」をストーリーの軸に据え、長期ビジョンのテーマ「成長から進化へ」に基づき、3つの基本方針である「環境問題への取り組み-Sustainability-」、「収益向上への取り組み-Profitability-」、「製品開発への取り組み-Green Innovation-」について、一貫した流れの中で伝えています。
当社ホームページからご覧いただけますので、是非ご一読ください。
<https://investor.ojiholdings.co.jp/ja/ir/library/integrated.html> ▶▶▶



アジア地域における高機能ラベル印刷加工事業の買収

王子イメージングメディアは、2022年9月に東南アジア及び中国の6ヵ国に事業拠点を有する高機能ラベル印刷会社 Adampakグループの親会社である Adampak Pte. Ltd. (本社:シンガポール)の全株式を取得しました。



アジア地域のラベル事業では、タイ及びマレーシアにそれぞれ2拠点を有していますが、Adampakグループが加わることで、今後もアジア地域で成長が見込まれる電気製品やヘルスケア向けの高機能ラベル製品の品揃えが拡大するとともに、原紙から加工までの一貫生産が可能となります。これらを通じて、より幅広いお客様にタイムリーかつ適切なラベル製品を提案し、顧客価値向上を目指していきます。



Adampak社製品

<https://www.ojiholdings.co.jp/Portals/0/resources/content/files/news/2022/JP09mA01.pdf?TabModule958=0>



環境問題への取り組み

当社グループでは環境問題の解決に向け「環境配慮型紙製品の開発」に取り組んでおり、森林資源を有効に活用しグリーンイノベーションによる新たな価値創造を進めています。環境に配慮した様々な紙製品を用いて、脱プラスチックの新しいビジネスモデルを構築し、幅広いニーズに合ったソリューションを提供しています。



プラスチックフィルム代替の紙製パッケージ



プラ削減とフードロス削減両方を実現する食品トレイ



生鮮食品をフレッシュに「保つ・魅せる」台紙



プラスチックフリーで熱シール対応のパッケージ

また、温室効果ガス排出削減の一環として、王子ネピアでは東京都の江戸川工場内の倉庫(2022年8月竣工)の屋上に太陽光発電パネルを設置し、倉庫及び工場の使用電力の一部に太陽光発電電力を使用しています。



ネピアecoティッシュ
5個パック 400枚(200組)



ネピアecoキッチンタオル
2ロール 100カット



プレミアムソフト
トイレットロール
1.8倍巻8ロールダブル

<https://www.ojiholdings.co.jp/Portals/0/resources/content/files/news/2022/JP08nE08.pdf?TabModule958=0>



～銀座に王子の森が出現～「本社ビルエントランス リニューアル」

当社本社館ビル1階のエントランスをリニューアルしました。

コンセプトは、「森のフィールド」。森林資源とともに歩む当社グループの想いを表現するため、在来種の生木植栽と社有林材を使用した木製什器を効果的に配し、都心のオフィスビルに居ながら森の癒しを感じることができる、リアルにこだわった空間づくりを目指しました。

さらに、館内の大型モニターでは、今回のリニューアルに合わせて作成した動画「王子の森」を上映し、美しい映像と音楽で国内外の社有林を紹介しています。新たに設けた展示スペースでは、木質由来の新素材や環境配慮型の新製品など、当社グループの最新情報を発信していきます。



<https://www.ojiholdings.co.jp/Portals/0/resources/content/files/news/2022/JP10Fe03.pdf?TabModule958=0>



株主優待のお知らせ

株主の皆様へ日頃からのご支援に感謝し、下記の2つの株主優待制度を導入しています。

詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

<https://investor.ojiholdings.co.jp/ja/ir/stock/benefit.html>



内容	基準日	株式数
当社グループ製品カタログギフト	毎年3月末	1,000株以上・半年以上継続保有
植林活動応援イベント『Stop地球温暖化 いっしょに育む“森の力”』	毎年9月末	5,000株以上保有

『王子の森』へ 株主様からのメッセージをお届け

株主様からお寄せいただきました木製プレートの数に相当する本数の苗木を植樹し、木製プレートはその苗木に取り付けさせていただきました。「王子の森」で苗木の成長を見まもります。



※2022年5月～8月にかけて実施したイベントの写真を掲載しています。

『王子の森』で 株主様向け植樹会を開催



インフォメーション

「株主様WEBアンケート」ご協力をお願い

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。ご協力いただきますようお願いいたします。

所要時間:5分程度 実施期間:2022年12月31日(土)まで

本アンケートでご入力いただきました個人情報は、今後の活動の参考とするための分析及び抽選に当選された株主様へのプレゼントの送付のために使用させていただきます。その他、当社は、「個人情報保護方針」(<https://www.ojiholdings.co.jp/privacy/>)に従って、個人情報の適正な取扱いに努めてまいります。



- 1 鼻セレブ ポケットマスク ふつうサイズ4枚入り1パック
- 2 鼻セレブ ITSUMO ティッシュ (48組) 1パック
- 3 鼻セレブ ポケットティッシュ プレミアム 8組 4パック
- 4 おしりセレブWET おでかけ用12枚1パック

本アンケートは、株式会社アイ・アール ジャパンが運営するWEBアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。

アンケートサイト(画面)への接続方法

方法① Yahoo!JAPANやGoogleなどから「株主ひろば」と検索してください。

方法② URLまたはQRコードよりアクセスしてください。

URL <https://kabuhiro.jp/>



ご回答方法

アンケートサイト画面の入力ボックスに、アンケートナンバーを入力して回答画面にお進みください。

個人株主向けアンケート

アンケートナンバー

ご回答の操作方法等のお問い合わせ先

株式会社アイ・アール ジャパン
株主ひろば事務局
E-mail: kabuhiro@irjapan.co.jp



アンケートにご協力いただきました株主様の中から抽選で**500名様**に、王子ネピア「**ネピア セレブ いつでもいっしょセット**」(下記4商品の詰合せ)をプレゼントいたします。

※ 当選者の発表は、商品の発送(2023年2月上旬頃を予定)をもって代えさせていただきます。

王子ネピアでは、上記の商品をはじめ毎日の生活に欠かせない商品を幅広く取り揃えています。詳しくは王子ネピアホームページをご覧ください。
<https://www.nepia.co.jp/>



会社概要 (2022年9月30日現在)

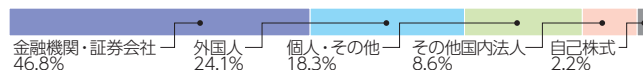
会社名 王子ホールディングス株式会社
本社所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目7番5号
創業 1873年(明治6年) 2月12日
設立 1949年(昭和24年) 8月1日
資本金 103,880百万円
連結従業員 35,961名
証券コード 3861
ホームページ <https://www.ojiholdings.co.jp/>

役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役会長	加来 正年	取締役(社外)	奈良 道博
代表取締役社長	磯野 裕之	取締役(社外)	相 幸子
取締役	進藤富三雄	取締役(社外)	長井 聖子
取締役	鎌田 和彦	取締役(社外)	小川 広通
取締役	青木 茂樹	監査役(常勤)	山下 富弘
取締役	長谷部明夫	監査役(常勤)	大塚 伸子
取締役	森平 高行	監査役(社外)	千森 秀郎
取締役	小貫 裕司	監査役(社外)	関口 典子
		監査役(社外)	野々上 尚

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数 2,400,000,000株
発行済株式の総数 1,014,381,817株
株主数 79,379名
所有者別株式分布状況



株式事務についてのご案内

株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

